

市の小学校先生と日本語教室学習者による 料理教室が開かれました

市の小学校教員と NIA 日本語教室の学習者による調理を通じた交流活動が、8月30日、秋津小学校で行われました。

習志野市教育研究会小学校英語部会に所属する校長先生と先生方合計7名と、NIAからは学習者とボランティアを含めて5人が参加しました。

このような企画は今回が初めてでしたが、モンゴル出身のウンダルマーさん、インド出身のアナミカさんのお二人が快く協力してくださいました。アナミカさんはインドの美しいサリーを着て来てくださったので、調理の間油がはねて汚れたり、火のそばで燃えたりしやしないかと心配しました。

調理から食事まで、英語と日本語を交えながら、モンゴルとインドの文化について会話が弾みましたし、本場の味に先生方にも大変喜んでいただけました。このような交流の場で、NIAの活動がお役に立てて大変嬉しく思いました。

すべての段どりをしてくださった秋津小学校の教頭先生を始め、ご参加くださった先生、そしてご協力くださったウンダルマーさんとアナミカさんに、心から感謝いたします。

今回のインストラクターのウンダルマーさんとアナミカさんの感想です。

☆ダシニヤム・ウンダルマー（モンゴル出身）

日本人の達が食事や料理について知識が多いのにびっくりしました。私は日本人がどこからこんな知識を学んでいるのか知りたいと思って参加しました。モンゴルでは、食事のことを話題にすることがあまりありません。日本には食材がたくさんあるのでおどろきま



完成した料理を前に参加者のみなさん

した。先生方から日本の食文化について教えてもらい、反対にモンゴルの生活や食事や文化について質問がありました。大変楽しい食事会でした。

☆アナミカ・ロカディ（インド出身）

この企画に参加を決めた時、楽しみでもありましたが、スパイスがたくさん入ったインド料理が日本人の口に合うのかどうか、不安でもありました。

当日、皆さんが料理するのを手伝ってくれました。何よりおどろいたのは、小学校に調理室があって、必要な調理道具や食器が全部そろっていたことでした。私が作った料理を、皆さんに「とても美味しい！」と喜んでもらえて、とても嬉しかったです。

このような機会を与えてくださった小学校と NIA に感謝の気持ちでいっぱいです。インドから遠く離れて暮らしていますが、淋しいと思ったことはありません。NIA はわたしにとって家族のような存在であり、NIA の一員になれて嬉しく思っています。